

大豆だより

第2号

令和8年6月24日発行
西村山農業技術普及課
TEL: 0237-86-8301

中耕・培土を適期に行い、生育を促進！

6月20日に東北地方の梅雨入りが発表されました。梅雨の合間を縫って遅れずに中耕・培土を行い、雑草防除と生育量確保に努めましょう。

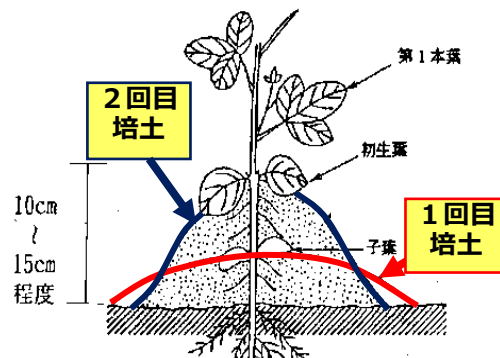
1 中耕・培土

【1回目培土のポイント】

- ・**3葉期**に、子葉節が隠れる高さまで行いましょう。
- ・雑草が見え始めている圃場は、早めに行いましょう。

【2回目培土のポイント】

- ・**6～7葉期**に、初生葉節が隠れる高さ（15cm程度）まで行いましょう。
- ・培土が高すぎると、収穫時に土が混入しやすく、汚損粒発生の原因になります。
- ・遅くとも開花の1週間前までに終了します。



2 追肥

- ・**6～7葉期の中耕・培土時**に、被覆尿素（LPコート70）を窒素成分で7.5kg/10a施肥しましょう。着莢数及び百粒重が増加し、収量向上の効果が期待できます。
- ・地力の高低に応じて施用量を調整しましょう。硫安は過繁茂になりやすく、根粒活性も低下するためNG!!

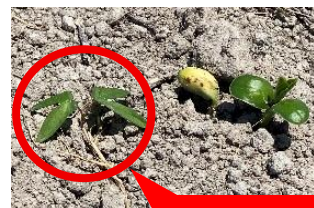
3 帰化アサガオ類対策 ～早期発見と早期対策が重要！～

- ・管内の圃場で、帰化アサガオ類が確認されています。

早期対策で拡大させないことが重要です！

【帰化アサガオ類防除のポイント】

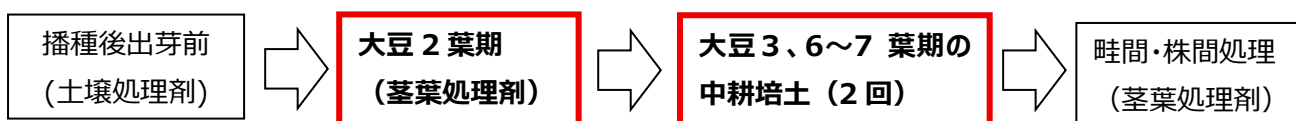
- ① 大豆を健全に生育させ、雑草との競合優位性を高める。
- ② 大豆が繁茂し条間を覆う頃まで概ね2週間ごとに防除(除草剤、中耕培土)。
- ③ つるになる前に抜き取りを行う。
- ④ 畦畔や農道など、圃場外からの侵入を防止する。
- ⑤ 作業機械に付着した種子による他圃場への拡散に注意する。



帰化アサガオ類

【防除体系】

初期防除・大豆初期生育の確保が決め手！



農作業事故と熱中症に要注意！声を掛け合い、農作業事故を防止しましょう！